

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達相談支援センターココベリ 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員 ・児童発達支援管理責任者 ・専門職員(理学療法士・作業療法士) ・児童指導員指導員・指導員(強度行動障害基礎研修了) ・介護福祉士	専門職をはじめ、多様な職員が連携をとりながら支援をおこなっている。昼礼やミーティングにて活動内容や支援内容を確認し、職員それぞれの視点から意見交換や情報共有をおこなっている。	専門職員による専門的支援実施をはじめ、引き続き様々な視点から意見交換や情報共有を行い、連携をとりながらチームでの支援に努めていく。また研修等によりそれぞれの専門性の質を高め、支援の質の向上に繋げていく。
2	環境	指導訓練室(ブレイルーム)や個室、園庭や芝生広場、子ども達が活動に応じて使用できる環境が複数ある。 また子ども達が楽しみながら運動できるよう、運動療育トレーニングゲーム「トレキング」を導入している。	活動内容や発達特性に応じ、ルール決めや環境設定をおこない、子どもたちが最大限楽しめるよう配慮していく。
3	移行体制 児童発達支援・放課後等デイサービス・SSTココベリの森生活介護事業所ココの家	法人内に複数事業所がある為、発達状況や年齢・支援内容に応じ、切れ目ない支援が可能。	法人内事業所との定期的な連携会議を実施し、子どもの支援状況や課題について情報共有を行い、適切な移行を進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動	集団活動において取り組み内容の工夫をしているが、幅広い年齢や個々の発達段階によりメイン活動(集団活動)への参加が難しい場合がある。	引き続き発達段階により取り組み内容を工夫したり、グループ分けを行い小集団活動・療育の充実を図っていく。 集団活動が苦手な児童に対しては、環境面にも配慮し専門的支援や個別での対応をおこなう。
2	家族支援	年に数回、保護者の皆様との交流機会・行事を設けているが、全体的な参加人数の少なさ、参加する利用者様が限られる傾向にある。また実施内容・時間・時期も参加率アップのため、検討課題となっている。	保護者の皆様のニーズを確認しながら、安心してご利用いただけるよう、事業所内相談や保護者の皆様と交流する機会を設けていく。
3	情報発信不足・周知の不十分	日々の活動やお知らせ等は連絡帳アプリや送迎時、ココベリ便りにてお伝えしておりますが、SNSでの発信がほとんど出ていない。 また、各種マニュアル等の周知方法については検討課題となっている。	事業所での活動等を知っていただくため、Instagramで定期的な情報発信を心掛けていきたい。各種マニュアル等の周知方法については法人全体で検討していく。